

The New Yorkers

(公財)青山音楽財団助成公演

Eiko Kano, violin

Karén Hakobyan, piano

加野^{えいこ}景子 ヴァイオリン

カレン・ハコビアン ピアノ

ニューヨーカーズ リサイタル



～プログラム～

ストラヴィンスキー：イタリア組曲

ブラームス：ソナタ第2番

ガーシュイン：ポーギーとベス

プロコフィエフ：ソナタ第2番

©2019 ねおゆうき

7/21²⁰¹⁹ 日 開場/13:30 開演14:00

会 場：青山音楽記念館(バロックザール)

入場料：全席自由席 3,000円 ※未就学児の入場はご遠慮ください

チケットぴあ TEL:0570-02-9999(Pコード 151-363)

※セブンイレブン等でも購入可

問い合わせ先：青山音楽記念館 バロックザール 075-393-0011

パロックザール
Barocksaal

青山音楽記念館



~ The New Yorkers ~

ニューヨークの街を愛してやまない、ヴァイオリニスト加野景子が創設したアンサンブル。

通常は固定メンバーが存在する上でその楽器の組み合わせによるプログラムが組まれるが、The New Yorkersはピアニスト、カレン・ハコビアン氏をコアメンバーに、ニューヨークにゆかりのある音楽家たちが、演奏曲目によって集まり、自由自在に変容しつつ、共感共鳴し合う音の世界を創造するプロフェッショナルユニットである。

加野景子(かのえいこ)



才能教育にてヴァイオリンを始める。

日本学生音楽コンクール小学校の部西日本大会 1 位。この時に審査員を務めていたヴァイオリニスト辻久子氏より指名を受け、翌年辻氏の半生を描いた連続テレビドラマ“弦鳴りやまず”(毎日放送、龍村仁氏演出)において久子の幼少時代を演奏と共に演じ、好評を博す。

14歳の時、音楽界の巨匠アイザック・スターン氏のマスタークラス(ソニー主催)においてスターン氏から絶賛され、翌年も同マスタークラスに招待を受ける。東京芸術大学音楽学部附属音楽学校入学。在学中に、音楽家の登竜門ともいわれる第57回日本音楽コンクールにて第2位、併せて海外派遣のための黒柳賞を受賞。同じく在学中に第4回日本国際コンクールにて第3位受賞。出身地大阪府高槻市より文化功労章を授与される。

東京芸術大学音楽学部入学後、アサヒビール、ロームミュージックファンデーションより奨学金を受け、19歳で渡英、23歳の時、フォーバルスカラシップ選考会にて優勝、名器ストラディヴァリウス『レインヴィル』を貸与される。

1999年、居を英国から米ニューヨークに移し、Manhattan School of Musicにて奨学金を受け、Bachelor及びMaster Degree in Orchestra Performanceを修了。2006年よりグラミー賞も受賞したアルバニー交響楽団のアシスタントコンサートマスターに就任。2008年よりニューヨークフィルでサブプレイヤーとして活動する傍ら、ニューヨークの室内オーケストラ、ペガサスの首席奏者及び特別芸術顧問も務める。

鬼才ケネス・クーパー率いる室内合奏団バークシャーバックスオサエティ(米マサチューセッツ州)に参加し、アニ・カヴァフィアンやエマーソン弦楽四重奏団のユージーン・ドラッカーと共演したほか、アルバニー交響楽団においてはヴィヴァルディの四季のソリストを務めた。近年は、指揮者なしの室内オーケストラにおけるリーダーとしての活動にも意欲的に取り組み、2017年秋にはニューヨーク州のサリヴァンカウンティ チェンバーミュージックソサエティよりゲストコンサートマスターとして招聘され、芸術情報サイト“MEET ME IN THE GREENROOM”のコンサートレビューにおいて絶賛された。

2017年より“マンハッタンストーリー”と題した自身のプロデュースによる創作ストーリーとヴァイオリンの珠玉の小品との融合を表現した、今までにないコンサート企画を立ち上げ高く評価され、CDリリースに至る。このCD“マンハッタンストーリー冬物語”は2018年11月より、第2弾の春物語は2019年4月より日本航空国際線全てのオーディオプログラムに搭載された。2018年からは“ソロヴァイオリンの極み”というシリーズを開催、ヴァイオリン独奏の独特な世界を追求するなど、他分野のアーティストとのコラボレーションも積極的に行いながら、ニューヨークと日本においてユニークな活動を展開している。使用楽器は日本音楽財団より貸与されている1725年製銘器ストラディバリウス“ウィルヘルミ”。

これまでに曾我部千恵子、澤和樹、建部洋子、ベラ・カトーナ、グレン・ディクテロウ、リサ・キム、ケネス・クーパー各氏に師事。

ホームページ：<http://www.eikonyc.com>



Karen Hakobyan(カレン・ハコビアン)

溢れる才能と無限の音楽的アイデアを持つ真の音楽家、とニューヨークコンサートレビュー紙に絶賛されて以来、アルメニア人ピアニスト、カレン・ハコビアンは国際舞台で活躍し続けている。

17歳でカーネギーホールデビューを果たし、アメリカはもとよりアルメニア、メキシコ、ドイツ、フランス、イギリス、日本の名だたるホールで演奏し、その演奏がニューヨークの主なラジオ局などで放送されている。

ユタ大学、マネス音楽院、マンハッタン音楽学校で学位を取得したのち、ソリストとしては勿論のこと、加野景子と2017年にマンハッタンストーリーのCDをリリース以降、The New Yorkersというアンサンブルを結成し、活動を拡げている。

2017年には自らが指揮とピアノ、または作曲もてがける室内オーケストラ、ペガサスをニューヨークにて創設し、次々と従来のクラシック音楽界の形式にとらわれないプログラムや形式を発信し注目されている鬼才である。

ホームページ：<http://www.karenhakobyan.com>



会場：青山音楽記念館バロックザール
京都市西京区松尾大利町9-1
TEL:075-393-0011
休館日：月・火
阪急嵐山線 上桂駅下車 西へ300M



加野自身が綴る創作ストーリーが珠玉のヴァイオリン名曲を紡ぐCD第2弾『マンハッタンストーリーII 春物語』が1枚目の冬物語に続きJAL国際線にて5月末までオンエア中!